

がん検診受診率等に関する問題点

平成28年6月14日
健康局がん・疾病対策課

平成28年5月12日
第17回がん検診のあり方に関する検討会 資料6

第17回検討会（平成28年5月12日）での論点について

次期がん対策推進基本計画策定に関する検討項目

がん検診のあり方に関する検討会における検討項目

- 職域検診実態調査の結果・分析
- 職域におけるガイドラインのあり方
- 指針以外の検診項目等の取り扱い
- 受診率向上に向けた取組の公表
- ワーキンググループの検討結果を受けた取りまとめ（次回検討会にて）

ワーキンググループにおける検討項目

- 各市町村および職域におけるがん検診受診率の比較可能な算定方法
- がん検診受診率の公表方法および報告方法
- がん検診受診率等の評価指標
- 精密検査受診率等の目標値のあり方

がん検診のあり方そのものに関する検討項目

- 行動変容を起こすためのインセンティブ策及びディスインセンティブ策
- 効果が明らかでない検査項目等も明示したガイドラインの策定
- 都道府県、市町村および保険者の協力のもと、特定健診との同時実施体制が取られている取組事例の収集、普及、推進
- 受診率向上施策の把握および対策
- がん種別、年代別の推奨グレード
- がん検診における国際比較
- がん検診における過剰診断
- がん検診の費用対効果

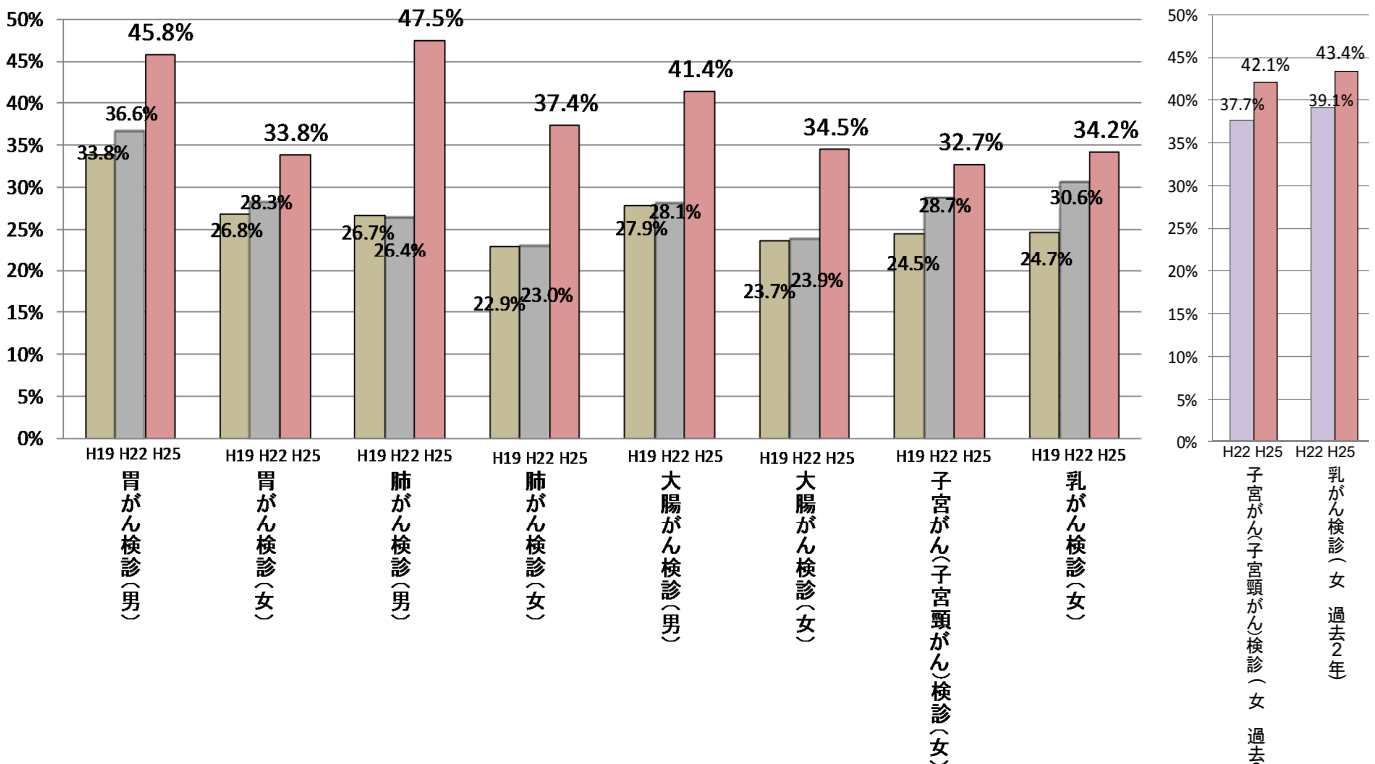
がん検診受診率の把握

地域保健・健康増進事業報告	国民生活基礎調査
<p>1 報告者：全国の市区町村</p> <p>2 報告の頻度：毎年度</p> <p>3 内容 「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」にもとづいて自治体を実施したがん検診の事業結果</p> <p>4 結果 対象者数、受診者数、受診率、要精密検査者数、結果人数等</p>	<p>1 回答者 層化無作為抽出された5530国勢調査区の全ての世帯（約30万世帯）及び世帯員（約74万人）（平成25年の場合）</p> <p>2 調査の頻度 がん検診に係る項目は3年に1度</p> <p>3 内容 「あなたは過去1年間に、下記の5つのがん検診を受けましたか」という質問に回答。（子宮がん・乳がん検診については過去2年間の状況も調査）</p> <p>4 結果 受診者数、受診率</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市区町村以外で行った検診（職域、個人）については把握不可能 ・ 受診者数や対象者数は5歳階級毎の報告 ・ 対象者の範囲については、それぞれの市区町村によってとらえ方が異なる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市区町村、職域、個人において受診したがん検診を全て含んだ受診率であるが、それぞれには分割不可能 ※平成28年より調査項目の改善（別添参照） ・ 市区町村単位での受診率の算出は不可能 ・ 調査対象者の主観的な回答となる

平成28年国民生活基礎調査【健康票】新旧対照表(抜粋)

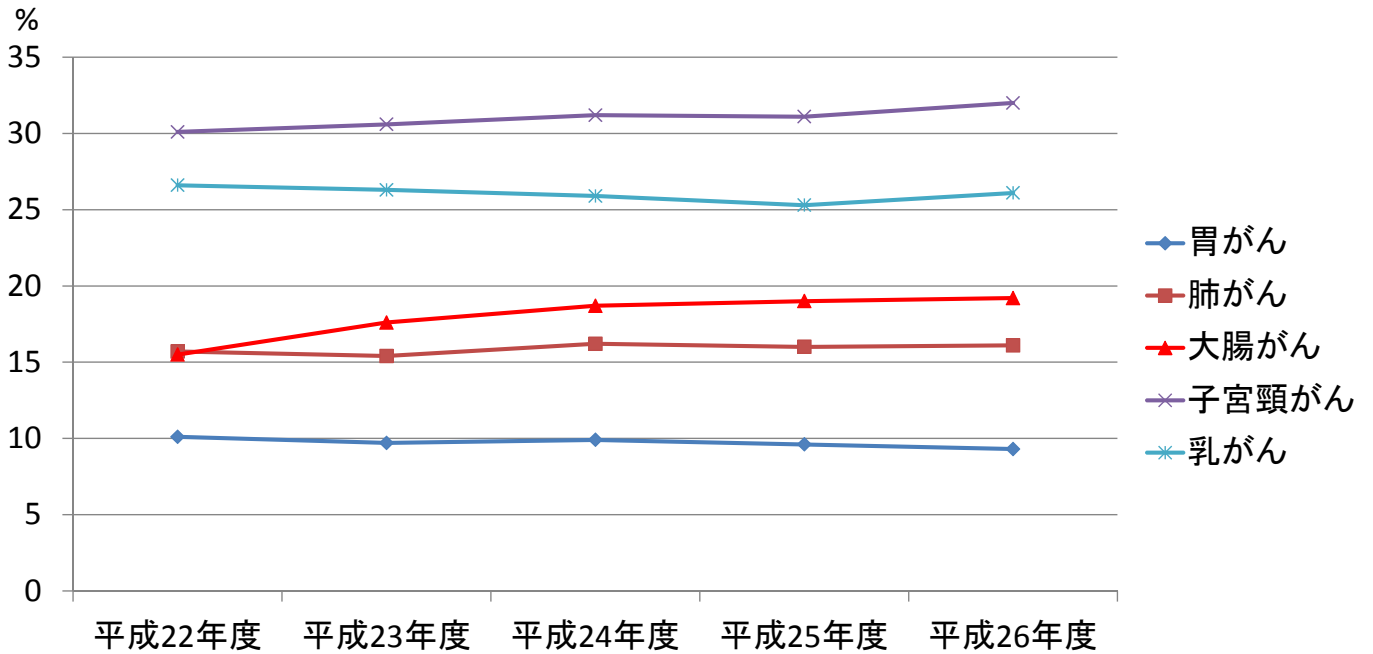
平成28年		平成25年	
(変更)			
質問16 あなたは過去1年間に、下記の5つのがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、どのような機会に受診したかお答えください。		質問16 あなたは過去1年間に、下記の5つのがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、勤め先(家族の勤め先を含む)での受診状況をお答えください。	
胃がん検診(胃がんによる内視鏡(胃がん、ファイバースコープ)による撮影など)	1 受けなかった 2 受けた	どのような機会に検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。
肺がん検診(胸のレントゲン撮影や喀痰(かくたん)検査など)	1 受けなかった 2 受けた	どのような機会に検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。
子宮がん(子宮頸がん)検診(子宮の細胞診検査など)	1 受けなかった 2 受けた	どのような機会に検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。
乳がん検診(乳房X線撮影や乳房超音波(エコー)検査など)	1 受けなかった 2 受けた	どのような機会に検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。
大腸がん検診(便潜血反応検査(検便)など)	1 受けなかった 2 受けた	どのような機会に検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。
補問16-1 あなたは過去2年間に、下記のがん検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。		補問16-1 あなたは過去2年間に、下記のがん検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。	
子宮がん(子宮頸がん)検診(子宮の細胞診検査など)	1 受けなかった 2 受けた	どのような機会に検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。	1 子宮がん(子宮頸がん)検診(子宮の細胞診検査など) 2 乳がん検診(乳房X線撮影や乳房超音波(エコー)検査など) 3 1~2は受けていない
乳がん検診(乳房X線撮影や乳房超音波(エコー)検査など)	1 受けなかった 2 受けた	どのような機会に検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。	

国民生活基礎調査によるがん検診受診率の推移



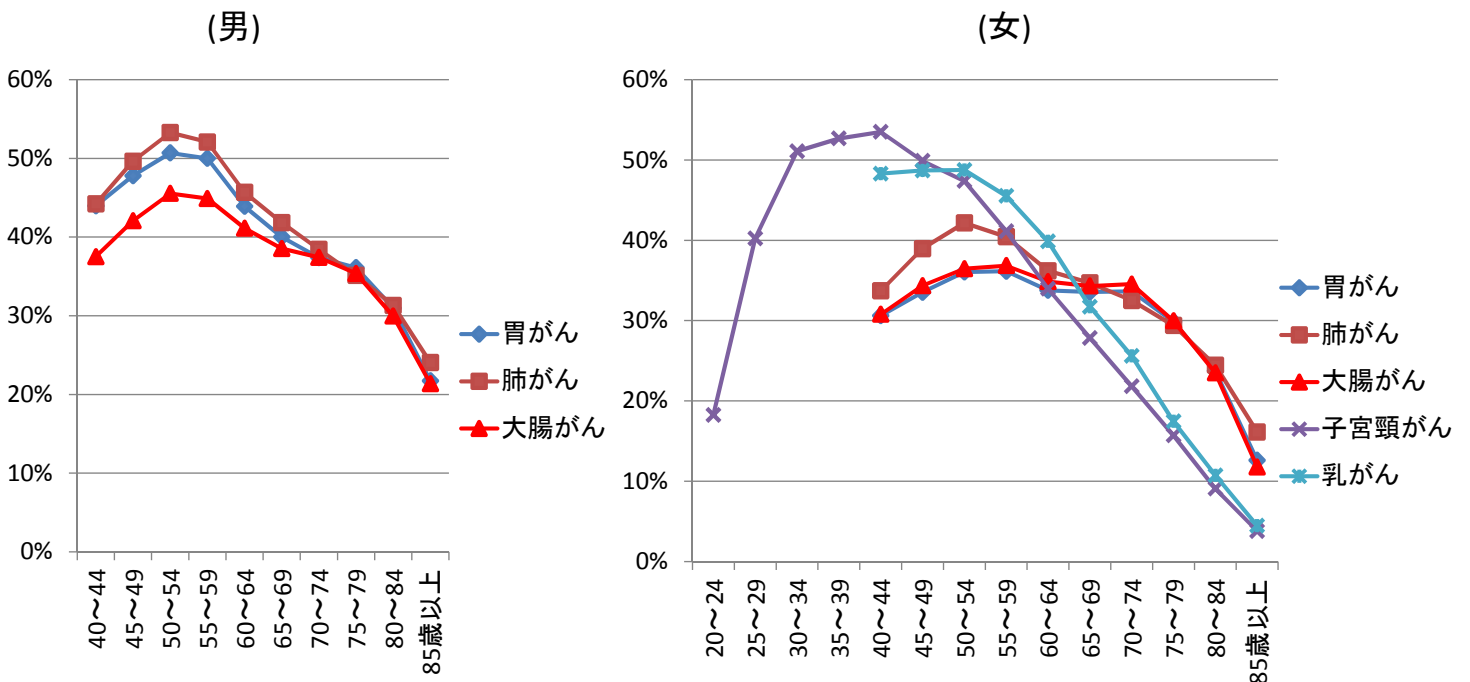
○ 胃がん、肺がん、乳がん、大腸がんは40歳～69歳、子宮がん(子宮頸がん)は20歳～69歳。
 ○ 健診等(健康診断、健康診査及び人間ドック)の中で受診したのものも含む。

地域保健・健康増進事業報告によるがん検診受診率の推移



・平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市、野田村）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。
 ・受診率は、計数不詳の市区町村を除く。

年齢階級別がん種別検診受診率



※子宮頸がん、乳がんに関しては、過去2年間にがん検診を受診した者

医療保険加入別のがん検診受診率

	国民健康保険・市町村	国民健康保険・組合	被用者保険・本人	被用者保険・家族	後期高齢者医療制度	その他
胃がん検診	28.9%	28.9%	42.3%	23.8%	31.7%	18.5%
肺がん検診	31.8%	32.7%	48.0%	27.6%	32.6%	19.4%
大腸がん検診	29.9%	28.9%	37.7%	25.0%	31.3%	16.9%
子宮がん (子宮頸がん) 検診	25.7%	31.4%	41.1%	37.9%	10.1%	18.5%
乳がん検診	25.2%	25.9%	34.4%	31.1%	11.7%	14.8%

※ 各医療保険は調査世帯員の保険加入状況を示すものであり、必ずしも各がん検診が各医療保険にて提供されたものであるとは限らない。

資料：厚生労働省「平成25年国民生活基礎調査」を基に健康局にて特別集計したもの⁹

がん検診受診率等に関する問題点

- 平成20年3月「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」報告書（以後事業評価報告書とする）では、職域等においてがん検診を受診できる人数を対象者から除く、推計対象者数を基にした受診率を提案している。
 - ⇒ 現状を再確認する必要があるのではないか
- がん検診の評価指標、目標値のあり方は平成20年以降検討されていない。
 - ⇒ 現状に合わせて事業評価報告書の再検討が必要ではないか

各調査における現状のがん検診受診率について

	国民生活基礎調査 (健康票)	地域保健・健康増進 事業報告	推計対象者を基にした 受診率
対象者	住民全体 (抽出された世帯)	住民全体 (自治体独自の設定)	住民全体から職域がん検診受診可能者を除く
受診者	検診を「受診した」と回答した者	市町村実施の指針に沿ったがん検診を受診した者	市町村実施の指針に沿ったがん検診を受診した者
主な目的	がん対策推進基本計画の評価指標	実数による受診率把握	市区町村間での受診率比較評価
公表間隔	3年に1度 (3年周期で調査実施)	毎年度	毎年度 (対象者数の算出は5年に1度)
公表方法	厚生労働省ホームページ 概況・報告書等	厚生労働省ホームページ	国立がん研究センター がん対策情報センター ホームページ
実施機関	厚生労働省	厚生労働省	国立がん研究センター がん対策情報センター